

生野区の取組みについて

令和5年度生野区運営方針中間振り返り

令和6年度生野区運営方針（素案）

令和5年度 生野区区政会議
第2回くらしの安全・安心部会

令和5年12月18日（月）



はじめに – 生野区運営方針について –

生野区運営方針とは

区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として
毎年度策定するものであり、生野区将来ビジョンに向けた
毎年度のアクションプラン（毎年度の施策・事業の取組を
明らかにするもの）となる

生野区将来ビジョン2023－2026

令和5年度
生野区
運営方針

令和6年度
生野区
運営方針

令和7年度
生野区
運営方針

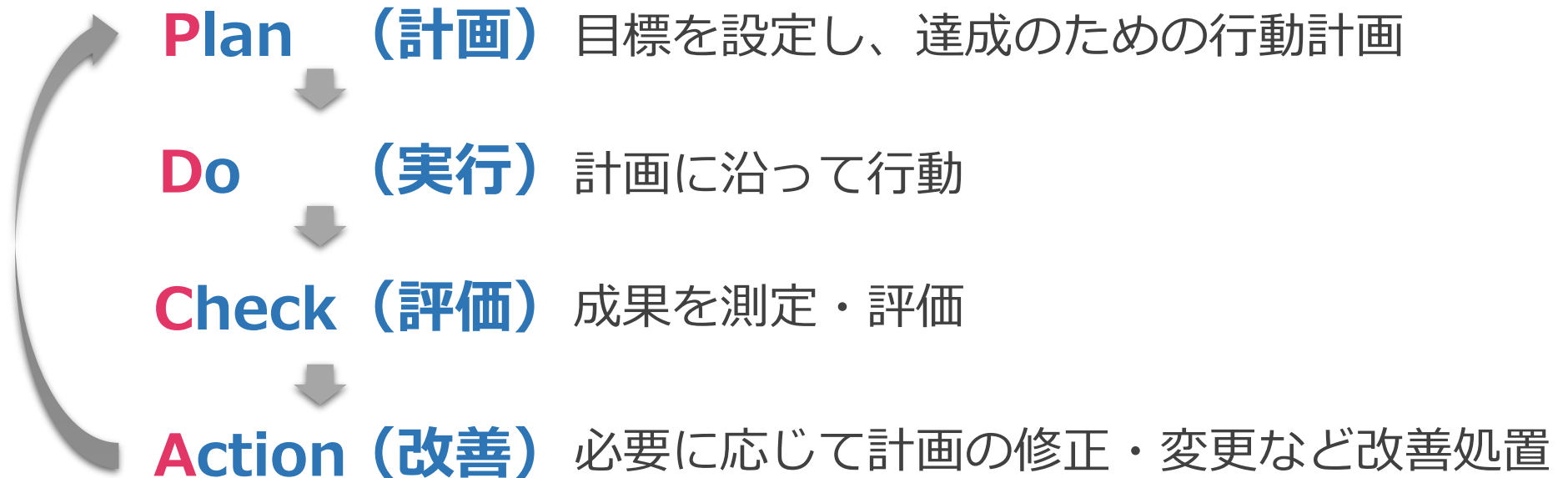
令和8年度
生野区
運営方針

めざす将来像

**誰もが
「居場所」と
「持ち場」の
あるまち**

はじめに – 生野区運営方針について –

毎年度PDCAサイクルによる策定と評価



はじめに – 生野区運営方針について –

策定・評価スケジュール

● 前年度運営方針 ● 当年度運営方針 ● 次年度運営方針



第1回区政会議

- ・ 令和4年度生野区運営方針振り返り

第2回区政会議

- ・ 令和5年度生野区運営方針中間振り返り
- ・ 令和6年度生野区運営方針（素案）

くらしの安全・安心部会

生野区運営方針 抜粋分

くらしの安全・安心部会の主なテーマ

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち

防災・防犯

- 災害に備えて
- 犯罪・事故の防止に向けて

地域福祉

- ずっと安心して暮らせる環境づくり
- ひとりも取りこぼさない支援を

人権・多文化共生

- すべての人々の人権を互いに尊重し認めあえる環境づくり

防災・防犯

災害に備えて

現状・課題

- 災害対策・要支援者の避難支援対策が急務
- 危機事態に対応できる体制・人材が不足
- 老朽家屋や空き家が多い



防災・防犯

災害に備えて

具体的取組① 地域自主防災力の強化

令和5年度
予算額

5,297千円

令和6年度
算定見込額

6,735千円

- 地域防災マップ
- Web版防災・水害ハザードマップ
- 地域防災リーダー育成
- ジュニア災害リーダー育成
* 令和5年度発足：18名
- 個別避難計画の作成
* 令和5年度から18連合で策定に着手

防災・防犯

災害に備えて

具体的取組② 災害発生時の的確な対応

令和5年度
予算額

1,131千円

令和6年度
算定見込額

2,264千円

■ 地域・行政・関係機関一斉合同防災訓練

＊令和5年度より実施

■ 生野区災害時協力事業所 ・店舗登録制度

■ 災害時避難所・福祉避難所 等へ配備する資機材等 の充実



防災・防犯

災害に備えて

具体的取組③ 空き家等や老朽住宅への対策

- 空き家所有者へ物件の適正管理や権利関係の重要性の周知・指導・啓発
- 事業連携協定による相談窓口の設置
- **現地確認・所有者調査や助言・指導等の実施**
* 令和5年度より実施

令和5年度
予算額

2,578千円

令和6年度
算定見込額

3,585千円

(一社) 大阪府不動産
コンサルティング協会

生野区役所 × (一社) 大阪府不動産コンサルティング協会

「空き家対策」への大きな一歩

令和3年6月23日、生野区役所は、区内の空き家対策を推進するため、一般社団法人大阪府不動産コンサルティング協会と事業連携に関する協定を締結しました。

こんなお悩みはありませんか？

- 空き家が老朽化して事故にならないか心配している。
- 空き家の名義が亡くなった祖父のままになっている。
- 相続した空き家、何から手を着いたら良いかわからない。
- 不動産業者に聞いたら売れないと言われた。
- 増地の空き家を持っているが、どうしたら良いか。
- 賃貸用の長屋が古くなり、借り手がいない。
- 空き家の一部が壊れた、この後どうしよう。

今の状態では「売れない」「貸せない」など流通性の低い空き家に対して、専門家が問題解決のサポートを行います！

令和3年度国土交通省「住宅市場を活性化し空き家対策モデル事業」
大阪府不動産コンサルティング協会の
空き家相談ホットライン
☎06-6210-3740 (平日10:00~16:00)
住所: 大阪市中央区安土町1-4-11 エンビイビル3階

空き家活用株式会社

生野区空き家ニュース！

生野区に空き家をお持ちの方へ
生野区役所よりお知らせです

いくのアカツカウナター
生野区に空き家をお持ちの方のための相談窓口
「いくのアカツカウナター」を開設しました！

いくのアカツカウナターとは、
生野区に空き家をお持ちの方のためのなんでも相談窓口です。

いくのアカツカウナターのポイント

- 空き家活用の対象となります
- 片付けや相談のご相談もOK
- 空き家活用費とお金返します！

※「空き家活用」は、対象条件を満たした空き家を売却の対象とする賠償責任保険です。
※「空き家活用」は物件の状況や状況によって対象とならない場合もございます。
※一部サービスは有料オプションとなる場合があります。その場合は別途お見積りが発生します。

いくのアカツカウナターへご相談お待ちしています
いくのアカツカウナターへの相談方法は裏面をご確認ください

防災・防犯

犯罪・事故の防止に向けて

現状・課題

- 依然として街頭犯罪が発生
- 高齢者を狙った特殊詐欺が発生しやすい
- 自転車事故が多発
(大阪市平均を上回る)



防災・防犯

犯罪・事故の防止に向けて

具体的取組① 犯罪の防止

令和5年度
予算額

5,718千円

令和6年度
算定見込額

4,155千円

■ 生野区全域一斉 パトロール

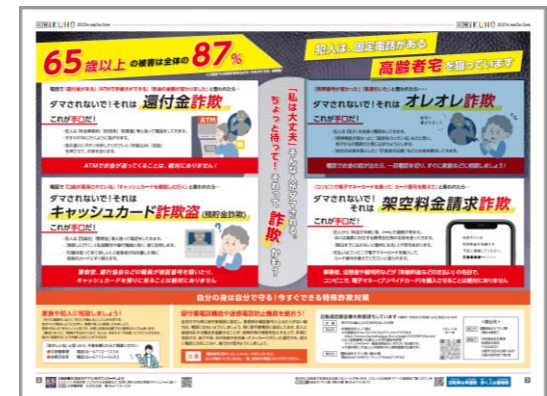


■ 防犯出前講座 「ガチ☆メン」



■ 防犯カメラの 維持管理

■ 特殊詐欺防止の啓発 * 広報いくの令和5年5月号



防災・防犯

犯罪・事故の防止に向けて

具体的取組② 事故の防止

令和5年度
予算額

4,845千円

令和6年度
算定見込額

4,967千円

- 警察、地域団体等と協働した啓発活動

商店街での
自転車マナー啓発



- 自転車交通ルールと運転マナーの周知・向上に向けた啓発

生野区住みます芸人
田津原理音さんによる啓発動画



防災・防犯

令和6年度の取組 ポイント

- 避難所機能強化のための物品や改選に伴う防災リーダー装備品などを用意し、防災力の強化を図る
- 令和5年度に発足したジュニア災害リーダーについて、引き続き育成に努める
- 空き家等対策について、空き家オーナーの意識改革を図ることなどを目的に普及啓発イベントを実施し、空き家利活用を促進していく

ずっと安心して暮らせる環境づくり

現状・課題

- 特定健診やがん検診などの受診率が低く、健康づくりへの関心を高める必要がある
- 高齢化率や単身高齢化率が高く、公的な福祉サービスだけでは多様化する課題への対応が難しくなっている
- 地域包括ケアシステムの推進が求められている

ずっと安心して暮らせる環境づくり

具体的取組①

すべての世代の健康づくり

令和5年度
予算額

811千円

令和6年度
算定見込額

933千円

■生活習慣病予防や介護予防

- ・いきいき健康体操、いくみんな体操、血管年齢測定、高齢者体力測定

■各種検（健）診の重要性の周知・啓発・受診勧奨

- ・総合がん検診の実施
- ・がん撲滅戦隊いくみんなレンジャーを活用したHP・SNS・広報紙での啓発
- ・がん検診受診促進協定締結団体等との連携による啓発（ポスター・チラシ配架）



地域福祉

ずっと安心して暮らせる環境づくり

具体的取組② 身近な見守り・支えあい

令和5年度
予算額

48,898千円

令和6年度
算定見込額

49,262千円

■ 地域における要援護者の見守りネットワーク 強化事業

- ・ 要援護者名簿の作成、同意確認
- ・ 孤立世帯等への専門的対応

■ ご近“助”パワフルサポート事業

- ・ 生野区社会福祉協議会に配置された各地域の福祉コーディネーターが地域の福祉課題を把握し、地域住民と連携して解決、支援



ひとりも取りこぼさない支援を

現状・課題

- 児童虐待相談や要保護児童対策地域協議会
検討件数が増加傾向にある
- 高齢者をはじめ、障がいのある方、ひとり
親家庭、ひきこもり・不登校のこどもや
ヤングケアラーなど課題のある方への支援
が必要
- 貧困の連鎖を断ち切るための支援が必要

ひとりも取りこぼさない支援を

具体的取組① 真に支援が必要な方への 確実な対応

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
12,971千円	13,366千円

- 虐待の早期発見・早期対応、再発防止に向けた啓発
- 生活困窮者自立支援事業「くらしの相談窓口いくの」
- 「こども地域包括ケアシステム」の運用による児童虐待の早期発見や課題解決などの取組み
- 学校と連携した「こどもサポートネット事業」の実施

ひとりも取りこぼさない支援を

具体的取組② 貧困の連鎖を断ち切るための 支援

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
2,605千円	2,601千円

- 民間事業者等を活用した
課外授業「いくの塾」
- 生きるチカラまなび
サポート事業



令和 6 年度の取組 ポイント

- 引き続き取組みを行い、住民の健康意識を向上させるとともに、地域住民による支えあいと公的支援が連動した包括的な支援体制の構築し、切れ目のない支援の実現をめざす
- 支援を必要とする人や課題のある人に対して、必要な制度やサービスが確実に届くように、各種ネットワークの連携強化を図る

人権・多文化共生

すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

現状・課題

- 従来の人権尊重・人権擁護への取組に加え、LGBTQへの認識と理解、ヘイトスピーチなど多様な人権課題への取組が必要
- 外国につながる住民向けの情報発信や庁内案内表示、各種制度のパンフレット、チラシなどの多言語化が不十分
- 外国につながる住民の属性、居住実態やコミュニティの形成状況など詳細情報を把握しきれていない

人権・多文化共生

すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

具体的取組① 人々の多様性を尊重し、 認め合える環境づくり

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
1,042千円	1,008千円

- 地域人権講座の開催
- 人権週間啓発事業の実施、イベント等での啓発活動
- 生野区人権啓発推進員連絡会との連絡調整会議
- 人権啓発広報紙「ふれ愛」発行

人権・多文化共生

すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

具体的取組② 外国につながる住民が安心して暮らせる環境づくり

令和5年度
予算額

495千円

令和6年度
算定見込額

12,595千円

■ やさしい日本語による情報発信や
コミュニティづくり支援

■ 国際文化交流事業

* 令和6年度 New

■ 外国につながる住民の意識等調査
・ 施策検討事業 * 令和6年度 New



人権・多文化共生

令和 6 年度の取組 ポイント

- 万博を契機として、多彩な団体と協働し食を通じた国際文化交流事業を展開
- 外国人住民との共生社会実現に向けた調査・施策検討事業（新規）を行い、外国人住民の実態や抱える問題を把握し、具体的な支援につなげる